9/4 建設

ミステリー小説やアニメの書籍が人気だ

平田建設

士幌中央中へ05年度から

図書寄贈が1000冊突破

「平田文庫」が1000冊突破―。平田建設（本社・士幌）が士幌中央中に寄贈した書籍・平田文庫が2022年度末で累計1000冊を超えた。8月31日に同校で1000冊突破の記念寄付金贈呈式を開き、長谷川雅毅社長が生徒に目録を手渡した。

地域貢献活動の一環として、05年度から士幌町に図書購入費を寄付し、ことしで19回目を数えた。

贈呈式には小室彰人校長ら教職員や高木康弘町長が参加した。長谷川社長が生徒会長の福田琴梨さんと図書委員長の渡邊悠人さんに目録を贈呈。福田さんは「多くの本で図書室がいっぱいになった」と感謝した。

図書委員が生徒にアンケートで希望を募るなどして選書。購入担当の小西正尊教諭によると、最近はミステリー小説やアニメが活字化された書籍などが人気だという。

同校では、授業開始前の10分間を「朝読」として全生徒が読書に親しむ。平田文庫で購入した短編シリーズも朝読用として好評だ。

長谷川社長は「最近は活字離れが進んでいる。本に触れる機会が少しでも増えたのであればうれしい」と目を細めた。（帯広）